

考えるという、美学。

特集

首都大学東京の 「知る × 究める × 考える」

東京都における学術の中心として、
広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究する首都大学東京。
その学びの素材は人間と社会を取り巻くものすべてであり、
素材へのアプローチの視点や手法も多種多様です。
ここでは、各領域の専門家である先生方の研究内容に触れることで
本学での学びの内容を知るとともに、大学での学びにおいて
「考えるとはどういうことか」を探っていきます。
その過程で皆さんも自分なりの「考えるとは」の答えが見えてくるはずです。

地域臨床

01 臨床心理学の手法で地域やコミュニティを支援する！
都市教養学部 人文・社会系 心理学・教育学コース 下川 昭夫 教授

地方自治

02 地方分権改革の意義を考える。
都市教養学部 法学系 政治学コース 伊藤 正次 教授

経営工学

03 数学的手法と経営学的発想で最適なシステムを探る。
都市教養学部 経営学系 山下 英明 教授

確率論

04 アマゾンランキングのメカニズムを確率論で解明！
都市教養学部 理工学系 数理科学コース 服部 久美子 教授

コミュニティ

05 大都市におけるコミュニティのあり方考える。
都市教養学部 都市政策コース 和田 清美 教授

エネルギー

06 材料化学の視点から地球環境問題の解決に挑む！
都市環境学部 分子応用化学コース 金村 聖志 教授

環境計測

07 レーザーによるCO₂濃度測定で温暖化の予測に貢献。
システムデザイン学部 情報通信システムコース 長澤 親生 教授

ウィメンズヘルス

08 思春期の性の健康を支えるピアカウンセリング。
健康福祉学部 看護学科 安達 久美子 教授

01 | 地域臨床 臨床心理学の手法で地域やコミュニティを支援する！

地域臨床の現場では、「正しいこと」に固執し過ぎるとうまくいかない。

Profile

Akio Shimokawa

東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学。東京都老人総合研究所、東亜大学助教授、東京都立大学助教授を経て、2005年より現職。臨床心理士、博士(学術)。



02 | 地方自治 地方分権改革の意義を考える。

特定の立場にこだわるより、さまざまな人の意見に耳を傾けるべき。

Profile

Masatsugu Ito

東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程修了、博士(法学)。東京都立大学法学部助教授、首都大学東京都市教養学部法学系准教授を経て、2009年より現職。



都市教養学部 人文・社会系 心理学・教育学コース

下川 昭夫 教授

地域の一員として一緒に考える姿勢が必要

私が研究テーマとして取り組んでいるのは、臨床心理学の中の「地域臨床」という領域です。通常、臨床心理学は相談室での個人面接が前提になりますが、地域臨床はスクールカウンセラーのように相談室から外へ出て、さまざまな人たちと関わり合いながら取り組んでいくケースが多く、特に特定の地域を意識したりしない場合は「コミュニティ臨床」とも呼ばれています。コミュニティ臨床の手法としては、臨床心理の専門家とコミュニティの関係性が重要で、すべてカウンセリングに持ち込もうとするのではなく、地域の一員としてそのコミュニティに入り、みんなで何ができるかを見つけていく姿勢が大切になります。具体的な事例としては、2007年に本学近隣の中学校に設置されたコミュニティスクールの学校運営協議会に私の研究室が参加して、保護者・学校・地域が一体となった学校づくりに取り組んでいます。そこで問題となっているのは「コミュニケーション不全」で、教員と保護者、保護者同士が話をしているも同じイメージを共有できず、すれ違いが起きてしまう状態です。保護者は理解してもらえないストレスで子どもに当たってしまい、それが子どもの学校

不適応を引き起こすという悪循環が発生します。それを解決するには、協議会以外に保護者と一緒に考えていく場を設け、徐々につながりを作って、できることから少しずつやっていくことが有効です。

大学の学習と地域での体験を組み合わせる

私の研究室ではこの他にも、学生たちが近隣の小中学校の授業に参加して、学級崩壊や問題を抱える生徒をサポートする学級支援を実施しています。先生方と子どもたちの人間関係の中に入っていきわけですから、時には困った問題に直面することもあります。そのような体験を通して「どうすればいいんだろう?」と自然に考えるようになります。大学での学習と地域での体験をうまく組み合わせることが成長のカギとなるのです。

What is “Thinking”?

「困ったこと」に直面することが大切。

都市教養学部 法学系 政治学コース

伊藤 正次 教授

地方分権改革はなぜ必要なのか

私が専門としているのは政治学の中の「行政学」という学問領域で、近年は地方分権改革とそれに伴う自治体の行政組織や政府形態のあり方などについて研究を進めています。地方分権改革とは、国の省庁がもつ権限や財源を自治体(都道府県・市町村)に移譲し、「地域のことは地域で」決定する仕組みをつくるための改革です。なぜ地方分権改革が必要なのでしょう。経済のグローバル化や急速な少子高齢化に伴う産業構造の変化や地域経済の衰退、それに伴う財政状況の悪化、生活環境の保全や安全・安心の確保など、日本の地域社会はさまざまな課題を抱えています。そうした課題は地域ごとに多様であり、国が画一的な対応をとっているだけでは、住民のニーズに対応できません。例えば、市町村が設置・運営する保育所について、入所要件や居室面積、職員数などの基準を厚生労働省が全国一律に定めていますが、共働き家庭の増加などライフスタイルの変化に伴う新たなニーズに対応しきれいていません。そのため、保育所に入所したくてもできない「待機児童」の問題等が発生しています。住民にとって身近な「政府」である自治体が、保育所に関する基準を条例で制定することができるようになれば、

地域の実情に即した子育て施策が展開できるようになると考えられるのです。

行政を総合的に捉える

行政学は、こうした地方分権改革を含め、行政の実態や変化を幅広い視点から分析する学問です。先に触れた子育て施策は社会福祉学や教育学の対象でもあります。行政学は、特定の専門分野の視点にこだわることなく、他の政策との関係や、予算・制度上の制約、さらには、施策を担当する公務員のあり方を含めて、国や自治体の行政を総合的に捉える視点を大切にしています。こうした視点は、国家公務員・地方公務員に求められる重要な資質でもあります。私が担当する講義・演習では、こうした視点を修得し、将来公務員を目指す学生をサポートすることも心がけています。

What is “Thinking”?

特定の立場にとらわれずに全体を見つめること。

03 | 経営工学 数学的手法と経営学的発想で最適なシステムを探る。



国や自治体など公共政策の場でも
ORの考え方と手法は活用できる。

Profile
Hideaki Yamashita

上智大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士後期課程修了。上智大学理工学部助手、駒澤大学経営学部助教授、東北大学大学院経済学研究科教授などを経て、2005年より現職。

都市教養学部 経営学系 | 山下 英明 教授

時間やコストの効率化を図ることが目的

車を運転していると、道路工事などで片側通行になっている場面によく出会います。多くの場合、信号や警備員の合図で1車線ずつ交互に車を通していきますが、タイミングよく車線を切り替えないと渋滞の原因になってしまいます。そこで、平均的な待ち時間や公平性などの要素を考慮に入れて、最も効率的に車線を切り替えるシステムを考えることが必要になります。このような問題に取り組む学問分野が「経営工学」であり、欧米では「オペレーションズ・リサーチ (OR: operations research)」と呼ばれています。ORは数学的・統計的なモデルを使って最も効率的なシステムを構築する科学的技法で、もともとは第2次大戦中にレーダーの配置や物資の輸送など軍事目的に開発された手法ですが、現在では先ほどの交通システムをはじめ、電車の乗り継ぎを調べる路線探索システム、工場内で製品や部品を運搬する物流システムなどさまざまな分野で活用されています。ORには不確定な要素を伴うモデルと伴わないモデルがあり、私の場合は主に不確定要素を伴う確率モデルの性能評価に取り組んでいます。

モデル化には職人技的なさじ加減が必要

ORでは時間とともにシステムが確率的に変化していく確率過程論や、乱数を使ったモンテカルロ・シミュレーションなどの手法で最適なシステムを検討していきますが、実際のシステムをそのまま解析することはできないので、替わりになるような確率モデルに置き換えることが必要です。その最初のモデル化が一番難しく、本質的な部分を組み込みつつ、些末な要素はバツサリ切り捨てる、職人技的なさじ加減が求められます。実社会で役立つような最適化が実現できた時の達成感はもちろん大きいです。ちょっとした発想の転換で数学的に美しい解にたどり着いた時の喜びもこの分野に取り組む醍醐味ですね。そのためには、常に物事の本質をとらえようという意識と、本質をより深く探っていく姿勢が何より大切なのです。

What is “Thinking”?

物事の本質をつきつめていくことが大切。

04 | 確率論 アマゾンランキングのメカニズムを確率論で解明!



数学の楽しさは、レンガを積み上げていくと
いつの間にか立派な建物になっている感覚。

Profile
Kumiko Hattori

東京大学理学部物理学卒業。東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了(博士号取得)。東京大学助手、信州大学助教授・教授を経て、2007年より現職。

都市教養学部 理工学系 数理科学コース | 服部 久美子 教授

アマゾンのショップ特性まで見えてくる

ネット書店のアマゾンではそれぞれの本に売れ行きランキングがついていて、1時間に1回更新されます。数学の専門書のように滅多に売れない本は数十万位程度で、順位の変化を観察すると毎時間数百位ずつ落ちていきますが、たまにいきなり数万位程度までジャンプして上がることがあります。もしこのランキングが一定期間の売上平均に基づいているならこのような変化を示すことはあり得ません。つまりアマゾンのランキングは最後に売れた本がトップに来るようになっていて、よく売れる本は常に上位にとどまり、あまり売れない本が突然ジャンプするのは「売れた時」なのです。そこで、最後に売れた順に1位になるような確率モデルを作って確率論による計算・統計処理をしていくと、アマゾンのショップとしての特性までが見えてきます。結果としてアマゾンはよく言われている「ロングテール型(多数の売れない本が集まって大きな利益を生み出す書店)」ではなく、リアルな書店と同じ「ベストセラー型(ベストセラー本によって利益を上げている書店)」であることが分かりました。

数学的なトレーニングは思考力の養成に有効

数学の楽しさは、何もなところからレンガを一つずつ積み上げていって、気がついたらいつの間にか立派な建物が出来上がっていたのと似た感覚です。そのプロセスでは「できた!」という喜びと「やっぱり間違っていた…」という落ち込みの繰り返しを通して、ジェットコースターに乗ったようなスリルが味わえます。しかし、その喜びやスリルを味わうには、最低限の基礎的な知識・手法を身につけることはもちろん、「正しいことだけを、正しい理論でつないでいくこと」が必要です。先に定義したもの、仮定したことだけを用いて論理的に思考を展開していく…。そういうトレーニングをしておけば実社会で生きていく基礎力になるはずですし、それは理系文系を問わず考える力を養う際に大切なことだと思えます。

What is “Thinking”?

正しいことだけを正しい論理でつないでいく。

05 | コミュニティ 大都市におけるコミュニティのあり方を考える。



フィールドワークは社会的な現実をつかみとる絶好のトレーニングの場。

Profile
Kiyomi Wada

立教大学大学院社会学研究科博士課程後期課程修了。立教大学社会学部助手、常盤大学人間科学部助教授、東京都立短期大学都市生活学科助教授を経て、2007年より現職。

都市教養学部 都市政策コース | 和田 清美 教授

変化する大都市のコミュニティの実態を把握

私が20年間一貫して取り組んできた研究テーマは、都市社会学分野の「コミュニティ論」「市民参加論」という領域です。特に、東京のような大都市におけるコミュニティの実態と変遷、地域の住民活動や行政と協働した住民の取り組みについて調査・研究を進め、より有効な都市政策・コミュニティ政策につなげていくことを目指しています。日本における「コミュニティ」という概念は、高度経済成長期に農村から都市へ急激な人口移動が起こったことにより、従来とは異なる新しい地域社会を作っていくという意味付与されたものでした。それがバブル経済期、東京のような大都市では居住機能が排斥され、コミュニティの崩壊が顕在化しました。それに対する危機感がきっかけとなり、私は東京23区を中心とした地域の住民活動をコミュニティ形成の視点からとらえた本格的な実態調査を始めたのです。具体的な調査手法はフィールドワークで、アンケート票による戸別訪問調査を20年間にわたって実施し、その研究成果を『大都市東京の社会学-コミュニティから全体構造へ』（有信堂、2006年）としてまとめ上げました。

フィールドワークで新しい発見に出合える面白さ

社会調査にはさまざまな手法がありますが、フィールドワークは現場に触れることで社会的な現実を肌で感じられる手法です。忙しい現代人にとって訪問調査は断られて当たり前ですが、調査に応じてくれた人の話を聞く中で、思わぬ新しい発見に出合えることがこの調査手法の醍醐味です。私のゼミでは学生たちにも地域住民にヒアリングを行うフィールドワークを体験させています。社会学において現場感覚は大切で、フィールドワークを通して「今、何が問題なのか、自分は何をなすべきなのか、それを実現するにはどうしたらいいか」を考える力を養うことができます。「思考」とは頭の中だけで考えるものではなく、現実に根ざしてはじめて生きてくるのです。そういう意味で、社会調査は思考のための絶好のトレーニングの場と言えるでしょう。

What is "Thinking"?

「現場」に触れることで考える力が養われる。

06 | エネルギー 材料化学の視点から地球環境問題の解決に挑む！



環境問題は人が集まる場所にしかない。だから、「東京」で学ぶ価値がある。

Profile
Kiyoshi Kanamura

京都大学大学院工学研究科工業化学専攻博士課程中退。京都大学助手・助教、都立大学助教授・教授を経て2005年より現職。工学博士。専門分野はリチウム電池、燃料電池、等。

都市環境学部 分子応用化学コース | 金村 聖志 教授

燃料電池の性能を大幅アップする新規材料を開発

15年ほど前にリチウムイオン電池が開発されて以来、携帯電話やノートパソコンの普及・小型化が急速に進みました。その間、私も一貫してリチウム電池や燃料電池の研究に取り組んでいます。現在、私の研究室では電気自動車や自然エネルギー用の蓄電池、体内に埋め込めるようなメディカルユースの電池など次世代電池の開発を目指しています。電池の性能向上のためには新規材料の創製が重要で、本研究室では、従来の伝導膜の約100倍もの特性を達成するメタノール燃料電池用セラミックス多孔体のプロトン伝導膜の開発に成功しました。これによって約100分の1のコストで従来と同等の性能を発揮できる燃料電池の開発が可能となります。電池材料はナノメートル、マイクロメートルというスケールで作られるので、製品としての電池のスケールとの間をつなぐインターフェースをいかにして開発するかが重要です。そのため、モノづくりの技術はもちろん、分析科学の知識と手法を身につけることが必要です。そして、試行錯誤を繰り返すうちに難しい材料や新しい材料も創製できるようになるのです。

評価の基準は製品として実用化できるかどうか

この分野の研究が難しいのは、あくまで製品としての「性能」が勝負だということ。研究室の実験で良い結果が出ただけではダメで、実用化のメドが立ってはじめて評価される、いわば「工学部の化学」です。そこが醍醐味でもあり、苦労と面白さは表裏一体だと言えます。また、新しい電池の開発は地球の環境問題の改善・解決に貢献できるやりがいもあります。環境問題では二酸化炭素の排出が大きな焦点になっていますが、電気エネルギーは唯一、二酸化炭素を排出しないエネルギーであるため、それを蓄える電池の果たす役割の大きさは何百年先の地球環境を考えても計りきれません。電池を活用した新しいエネルギーシステムはまだいろいろと考えられます。ぜひ、若い人たちにも積極的にチャレンジして欲しいですね。

What is "Thinking"?

どうすれば実用化できるかを常に意識する。

07 | 環境計測 レーザーによるCO2濃度測定で温暖化の予測に貢献。

誰もやっていないことを成し遂げた喜びを知ると目の輝きが変わる。

Profile
Chikao Nagasawa

九州大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程単位取得退学。東京都立大学工学部電気工学科教授を経て、2005年より現職。理学博士。



システムデザイン学部 情報通信システムコース | 長澤 親生 教授

世界初の高度におけるCO2濃度測定に成功！

近年、猛暑や大型台風の発生など地球温暖化の影響と思われる異常気象が多発していますが、これらの現象を科学的に解明し、将来における温暖化を精度よく予測するためには、その有力な原因物質である大気中のCO2濃度の高度分布を正確に測定することが重要です。しかし、現状では地上付近での測定や航空機でサンプリングした大気中の測定などによる測定値しか得られない状態でした。そこで私の研究室では、レーザー光を利用してCO2濃度の高度分布を遠隔測定(リモートセンシング)する技術「ライダー」の開発に取り組んでいます。「ライダー」の仕組みは、特有の波長を持ったレーザー光を地上から上空に発射し、CO2に吸収されずに反射して地上に戻ってきたレーザー光を受信・解析して濃度分布を割り出すというものです。私たちが開発した「CO2ライダー」により、高度7kmまでのCO2濃度測定に世界で初めて成功し、今後は航空機や人工衛星に搭載可能なシステムの開発を目指しています。

レーザー光の開発から地道に取り組んだ成果

この研究が世界的に実現していなかったのは、あまりに開発すべき要素が多く、かつ分野横断的な要素が多いため、研究者たちが怯んでいたからです。私の研究室では適応する波長のレーザー光を作るところから地道に諦めずに取り組んできました。また、システムデザイン学部という分野横断的なインテグレーションを推進している環境を存分に活用できたことも大きなメリットだと言えるでしょう。他の人がやっていないことにチャレンジするのはとてもやりがいのあることです。そのためには基礎的な学問や手法を学ぶことはもちろん大切ですが、その上で好奇心旺盛にあらゆる分野の知識を吸収しようとする姿勢が必要です。知識のないところに良いアイデアは生まれません。ぜひ、分野横断的な視野を身につけてください。

What is "Thinking"?

アイデアが出ないのは知識がないから。

08 | ウィメンズヘルス 思春期の性の健康を支えるピアカウンセリング。

教える、答えるではなく、同じ視点で考える。仲間意識をもつことで問題解決に寄り添う。

Profile
Kumiko Adachi

保健科学博士。浜松医科大学大学院医学系研究科修了。神戸市看護大学講師を経て、2006年より本学准教授、2010年より現職。



健康福祉学部 看護学科 | 安達 久美子 教授

相手の立場に立って理解することで悩みを解決へ導く

未成年者の人工妊娠中絶や性感染症など、思春期の性の問題が取り上げられ、社会的な対応の必要性が高まるなか、全国で展開されているのがピアカウンセリングです。私は実際の活動やカウンセラーの養成に携わりながらピアカウンセリングの研究に取り組み、思春期の子どもたちをサポートできる看護職の養成にも力を入れています。「ピア」は仲間の意味で、ピアカウンセリングとは、大人目線ではなく同じ目線に立って行う相談方法。大学生が高校生を、高校生が中学生をといったように、自分に近い立場の人が寄り添い、なり代わって何かを行うのではなく、耳を傾けて一緒に考えていきます。内容は避妊や性行動の考え方のレクチャーほか、人との関係性を築くエンカウンターエクササイズなど。カウンセリングを受けた高校生のアンケートから見て取れるのは、自己効力感や自尊感情の向上です。カウンセラーとなった大学生も活動を通して意識が大きく変化します。

人工妊娠中絶する約3割がリピーターという調査結果もあり、海外では中絶手術が決まると、カウンセリングを義務付けている地域もあります。日本で手術を受

けた若者たちに私が話を聞くと、よく話をしてくれる人がほとんどです。本当は複雑な感情を抱え込んでいることに気付かされます。予防という意味でも、ピアの視点でサポートできる看護師をもっと増やしていく必要があると言えるでしょう。

日本の現代社会が抱える様々な問題に対して活用

現在、ピアカウンセリングの活動を要請する高校から、デートDV、たばこ、ドラッグなどについて依頼があり、内容は広がる傾向にあります。国民運動計画「健やか親子21」の中でも、思春期の問題に対してピアカウンセリングを実施することで質的転換を推進。また、悩みを抱えやすい新人看護師や子育て中のお母さんに対して行うなど、今後ピアカウンセリングを活用する場はますます広がっていくと考えています。

What is "Thinking"?

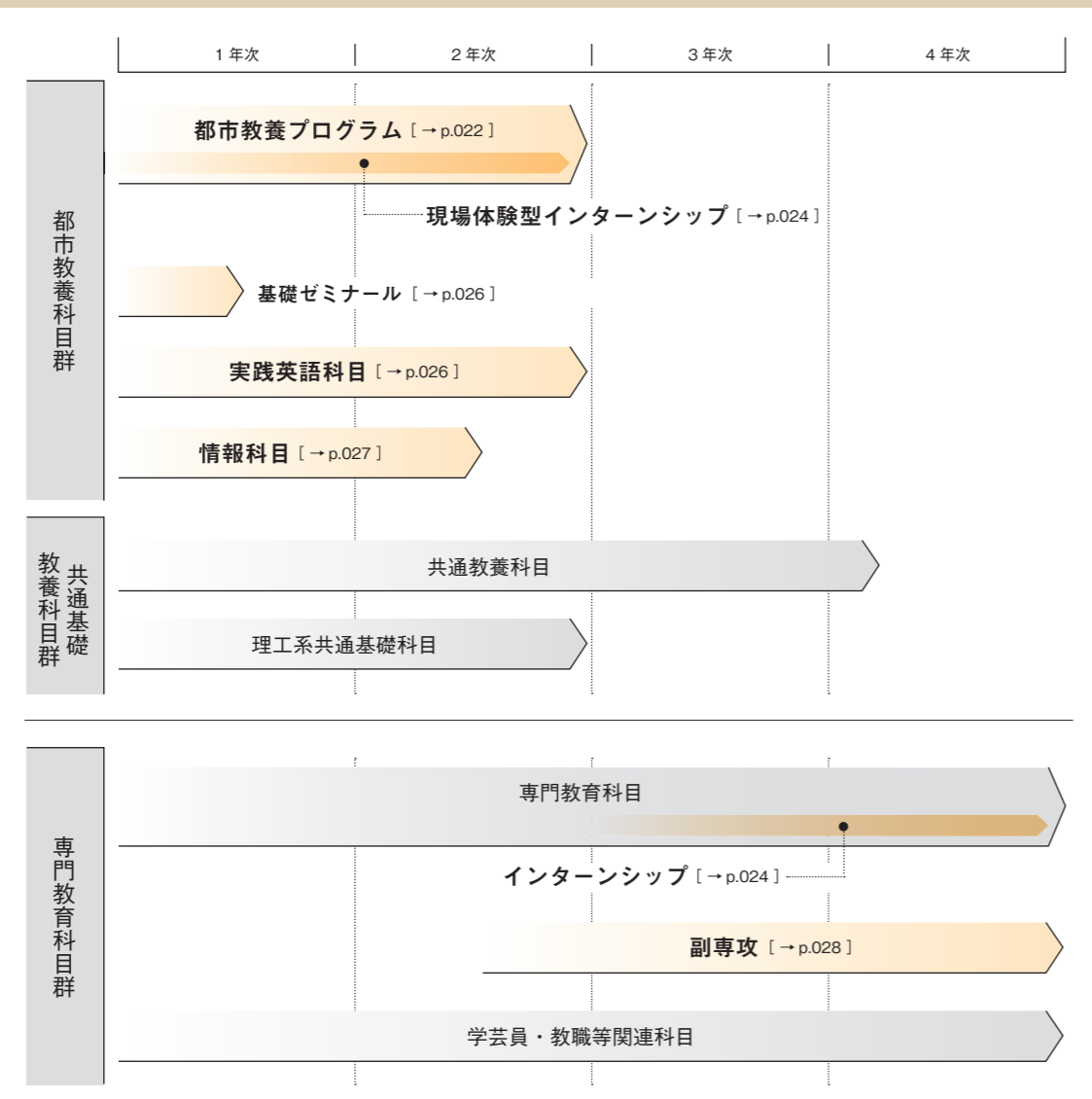
相手の立場に立つこと。毎日は思考と実践の繰り返し。

大都市東京をフィールドとして、現代社会と人間が抱えるさまざまな課題の解明・解決に挑む首都大学東京。その学びのスタイルは、幅広い分野の知識と奥深い専門の学術を習得できるように工夫されています。

4学部28コース制のもと、学生たちは自由度の高い選択・履修が可能なカリキュラムでの学習・研究を通して、未来社会を担うリーダーに求められる“広く、深い”専門の知識を兼ね備えた人材へと成長していくことができます。

4年間の履修の流れ

首都大学東京では、大都市東京の未来を担う人材を育てるため、学生一人ひとりの個性と才能を伸ばす教育を目標としています。カリキュラムはまず、1・2年次に「都市教養科目群」「共通基礎教養科目群」を学習することから始まります。これらの科目を通して、大都市の抱える課題とその解決方法、専門教育の前提となる基礎的知識や技術を学び、3・4年次で、2年次までに修得した教養を土台に、専門的な知識を学んでいきます。



都市教養科目群

- **都市教養プログラム** [→p.022]
都市にまつわるテーマに沿って、5つのテーマと5つの系から、幅広い学問領域の教養科目を体系的に学習します。
- **現場体験型インターンシップ** [→p.024] 体験型の教養教育として低学年次に大都市東京で現場を体験します。
- **基礎ゼミナール** [→p.026]
課題発見から、調査、討論、プレゼンテーションまで、少人数制（24名以内）のクラスに分かれて学問の技法を修得します。
- **実践英語科目** [→p.026]
話す、聞く、読む、書くの4つのスキルを反復学習。レベル別クラスによって実践的な英語を修得することができます。
- **情報科目** [→p.027]
パソコン活用能力だけでなく、情報収集、編集、表現、発信など、課題解決型の授業によるITスキルの実践的能力を身につけます。

共通基礎教養科目群

- **共通教養科目**
- **理工系共通基礎科目**

専門教育科目群

- **専門教育科目**
各学部のコース、学科に応じて専門的知識や技術を学びます。
- **インターンシップ** [→p.024] 就職前の就業体験として高学年次に体験します。
- **副専攻（観光経営副専攻コース／人間健康科学副専攻コース）** [→p.028]
所属し専攻するコース・学科（主専攻）の専門分野とは異なる特定の専門領域について体系的に学び、複数の領域にわたる複合的な専門知識を修得し、視野を拡大します。
- **学芸員・教職等関連科目**



特徴ある基礎・教養教育プログラム

首都大学東京では、本学のアイデンティティともいえる「都市教養プログラム」をはじめとする独自の教育プログラム（「基礎ゼミナール」「実践英語科目」「情報科目」など）を実施しています。大学教育センターは学生自らの考える力を育成し、また伸ばしていくことを念頭に、魅力ある授業を続けるために総合的プロデュースを行っています。また、履修科目の選択に際しては、学生にとってより利用しやすい「履修の手引」や「授業案内（シラバス）」の編さんを行っています。

詳しくは p.128 ページをご覧ください。

都市教養科目群 都市教養プログラム

幅広い知識と深い専門の学術を研究する

1・2年次を中心に履修する都市教養プログラムでは、所属する学科やコースに関わらず、都市に関連する幅広い学問分野を学ぶことができます。学生は自分の興味や進路に合わせて、5つのテーマと5つの系から科目選択し、合計14単位以上を履修します。

本学の使命である「大都市における人間社会の理想像の追求」の実現に向けて、都市教養プログラムは中心的役割を果たす授業科目群であり、本学の存在価値を示すアイデンティティそのものです。



都市教養プログラムの概要とねらい

産業革命以来の変化をもたらしつつあると言われる情報化の進展や、急速に進む少子高齢化、世界の動きがリアルタイムに連動し合うグローバル化、そして地球規模での環境悪化など、今、現代社会はこれまで人類が経験したことのない変化の時代に直面しています。そして、こうした時代変化の影響が最も早く、かつ集中的に現れるのが大都市です。もちろん、世界有数の巨大都市である東京もまた、例外ではありません。現在の東京はそうした時代変化の影響で、都市特有のさまざまな課題・問題を抱えることとなっています。

都市の現状を的確に分析し、課題・問題を抽出して、自らの思考に基づいて仮説を立て、その解決策を生み出していくために必要不可欠な、都市に関する基礎知識を幅広く学ぶための科目群が「都市教養プログラム」です。21世紀の都市が直面する問題を解決し、未来社会のリーダーとなる存在。それは、都市教養プログラムを通じて、都市の課題解決を可能にする視点や思考、そして現場で適用する実践的な知識と技術を養える本学の学生たちであり、すなわち、これから本学を目指す皆さん自身なのです。

授業ピックアップ PICK UP

【人文・社会科学系Ⅰ】 文化・芸術・歴史

ドイツ文学

ドイツ中世文学の傑作『ニーベルンゲンの歌』及びそれを素材とした作品を検証します。中世から現代に至るまでの『ニーベルンゲンの歌』に関する見解の変遷を追うことを通じて、ドイツ文学史を概観します。

【人文・社会科学系Ⅱ】 グローバル化・環境

都市政策入門

都市政策が対応すべき領域、都市を構成する多様な主体の役割、政策手法、都市と地方との関係、都市に求められる機能とその配置といった観点から、都市政策に関する理論や知識を修得します。

【人文・社会科学系Ⅱ】 産業・社会

都庁の仕組みと仕事

毎回異なる都庁の実務者を招いて、今日の社会や大都市が抱える問題や、それへの東京都の取り組みをお話いただけます。東京都の仕組みや具体的な地方公務員の知識を深めることができます。

【人文・社会科学系Ⅱ】 共通

価値と資本の理論

社会科学や経済学の入門として、社会経済の現象をめぐる科学的な見方を修得します。身近で具体的な出来事の因果関連を考え抜いて、その解決の道を探る思考力・洞察力を培います。

【技術・自然科学系Ⅰ】 文化・芸術・歴史

建築文化論

人が作り出す文化的な所産としての建築、さらにその集合体である都市について講述します。①自動車が登場する今日の都市空間が抱える問題 ②建築構造の原理と歴史及び耐震設計 ③西洋建築の伝統及び近現代建築のデザインと動向

【技術・自然科学系Ⅰ】 産業・社会

航空力学に基づく飛行機づくり

航空力学に基づいた飛行機設計法の初歩を学びます。実際のペーパープレーン製作課題をもとに、概念設計法などを学びます。

【技術・自然科学系Ⅱ】 グローバル化・環境

動物の生態と多様性

生物多様性の認識とその保全は、現代文明が地球環境の変化などとの関わりで取り組むべき重要な課題です。この授業では、動物を中心にその生態と多様性について、生態学、系統分類学の観点から概説します。

【技術・自然科学系Ⅱ】 人間・情報

保健医療概論

保健・医療・福祉領域の基礎を学びながら、現代社会が抱えるさまざまな複合的課題に対処する方略としての専門職連携と協働実践の基本を講義します。この連携と協働実践の基礎は他の工学系、経営、教育など多くの専門性を横断する連携マネジメントにも通じる考え方を養うことができます。

授業科目一覧表

テーマ	5つの系				実験・体験型科目
	人文・社会科学系Ⅰ	人文・社会科学系Ⅱ	技術・自然科学系Ⅰ	技術・自然科学系Ⅱ	
文化・芸術・歴史	社会意識と社会構造 自然と文明の哲学 都市の歴史 日本語と日本文学 アジアの言語と文化 アメリカの文化 イギリスの文化 ドイツ文学 PICK UP フランス文学 文化人類学A 文化制度論入門 文化分析批評入門 ことばと社会と文化A ことばと社会と文化B 現代芸術文化論	都市問題の歴史的文脈 社会思想史 スポーツ学 スポーツ文化論 政治理論入門 現代政治入門	数学の歴史 宇宙の成り立ち 力学的世界観 現代物理学の考え方 建築文化論 PICK UP	地域環境の人文地理 植物の多様性と進化 進化生物学 食物と食文化	
グローバル化・環境	環境と生命の倫理 アジアの歴史と社会・文化 西洋の歴史と社会・文化B アフリカの文化 Japanese Language and Society Japanese Communication Styles	都市と環境 文化人類学B 経営のグローバル化と異文化理解 グローバリゼーションと社会 環境と社会科学 都市政策入門 PICK UP 「グローバル人材」をめざす学び	都市の生活環境と化学物質 電気エネルギーと環境 ものづくりのテクノロジー 環境を支える土木技術 環境と建築 地球環境調和化学入門 メカトロニクス入門 宇宙からみた地球環境 都市環境調和化学入門	細胞生物学 生態と環境 動物の生態と多様性 PICK UP 大地の成り立ちを探る 大気と水の循環を学ぶ 地球環境の変遷と考古学 自然と共生する文明 環境と健康 自然・文化ツーリズム入門 自然ツーリズム学の見方・考え方 自然と社会と文化	
人間・情報	心の哲学 言語科学入門 生活の心理学A / 生活の心理学B 人間の認知 心理学方法論 人格と発達 科学哲学 スポーツ運動学	情報社会と法 社会調査法 情報社会システム論 人間の起源と健康 医療統計学 人間発達学	集合と論理的思考 計算の理論 エントロピーの科学 宇宙地球物質の化学 分子の形と対称性 生命を支える化学物質 都市空間と人間 都市生活を支える情報ネットワーク技術 移動の人間工学 医療と画像	ゲノム科学 神経生物学 生命論 エクササイズ科学 健康トレーニング論 健康スポーツ科学 食品とアレルギー 行動生理学 認知と行動 健康の栄養学 生活習慣病と栄養 食品と健康 運動行動学 リハビリテーション概論 保健医療概論 PICK UP	
産業・社会	日本の歴史と社会・文化B 文明と歴史 アジア・アフリカ社会論 映像文化論入門 技術と倫理 イスラームの社会	都市社会学 生活と福祉 社会と福祉 「教育問題」を読み直す 学校と労働社会 官庁の仕組みと仕事 都庁の仕組みと仕事 PICK UP 刑事法入門 法学入門 民法法入門 サービス・マーケティング 会計制度と社会 社会と経営 日本の産業と企業 キャリア形成 投資の科学	現代的教養のための確率統計 現代社会・化学の役割 身の周りの電気 都市創造と再生技術 先端材料化学入門 ロボットと社会 現代社会における通信 航空力学に基づく 飛行機づくり PICK UP 経営工学入門 化学物質と社会 トランスポート・デザイン デザインマネジメント概論	バイオテクノロジー 人間生物学 先端生命化学入門 都市空間の人文地理 自然災害と社会 文化ツーリズム学の見方・考え方 ツーリズム産業論	
共通	心理学 哲学A / 哲学B 倫理学A / 倫理学B 論理学A / 論理学B 西洋古典学A / 西洋古典学B 歴史学入門 考古学入門 文学概論I / 文学概論II 美術A / 美術B 音楽A / 音楽B 映画A / 映画B 演劇A / 演劇B	日本国憲法 基礎経済学 統計学I / 統計学II 教育学A / 教育学B 社会学A / 社会学B 社会福祉学 価値と資本の理論 PICK UP	科学史A	科学史B	

現場体験型インターンシップ (p.024 ページ参照)



インターンシッププログラム

低学年での現場体験と高学年での就業体験が自己の向上とスキルアップにつながる

インターンシップとは、学生が一定期間、実際の業務を体験することです。首都大学東京では、都市教養プログラムの実験・体験型科目として、大学生生活の早い時期に実施する「現場体験型インターンシップ」と、就業体験として、高学年で実施する専門教育科目としての「インターンシップ」の2つのインターンシップがあります。



インターンシッププログラムの概要とねらい

インターンシップでは、学生が一定期間、仕事の現場を体験することによって、各業界・業種の業務内容はもちろん、職場の人間関係や仕事をするための厳しさと喜びを知ることができます。また、その体験を通して自分がどんな仕事や業種に向いているかという職業適性を把握するための大きなヒントになることも、インターンシップの大きなメリットだと言えるでしょう。

首都大学東京では、上記の2つのインターンシップがあります。まず、現場体験型インターンシップでは、前期授業期間に事前学習(全3回)を

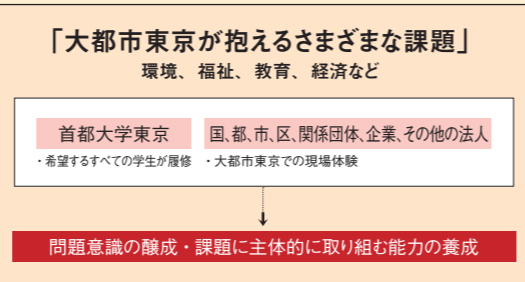
行い、実習先の事前調査を行ったのち、夏季休業期間中に5～10日間の実習をします。大都市が抱えるさまざまな社会の課題、及び自分自身の課題について認識を深め、課題に主体的に取り組む能力、社会人として必要な基礎的コミュニケーション能力等を自ら養成することを目指しています。都庁及び関係団体、東京都内区・市役所、企業などバラエティに富んだ実習先の充実度は首都大学東京ならではのものです。さらに、専門教育科目として3年次以上で履修ができるインターンシップにおいて、将来の進路に関連したキャリア教育を行います。

都市教養科目群 [都市教養プログラム]

現場体験型インターンシップ

大都市東京での「現場体験」を通じて問題意識を醸成し、課題に主体的に取り組む能力等を自ら養成することを目指しています。

- ◎さまざまな課題を抱える大都市東京での現場体験
- ◎講義と実習を通じて社会人としての基礎を学ぶ



カテゴリ	【行政分野】	【企業分野】
暮らし	生活	東京都消費生活総合センター、東京都総務局人権施策推進課、狛江市地域活性化課、港区地域振興課
	いのち	東京消防庁、都立病院、武蔵村山市高齢福祉課、高齢者介護施設(東京都福祉保健局、目黒区など)、知的障害者施設(東京都社会福祉事業団、墨田区など)
	エコ	東京都産業労働局森林事務所、東久留米市環境施策課、東京都環境局廃棄物埋立管理事務所、国立市ごみ減量課、東京二十三区清掃一部事務組合
ものづくり	東京都立産業技術研究センター	東京都中小企業振興公社、奈良機械製作所、フジクラ、富士電機システムズ
教育・子育て	都立特別支援学校、都立児童自立支援施設、保育園(小金井市、小平市、目黒区、杉並区など)、児童館(調布市、あきる野市、東久留米市、品川区など)	
文化・スポーツ	東京都総務局公文書館、台東区青少年スポーツ課、図書館(都立中央図書館、昭島市、東村山市、北区など)、日野市民館、江東区文化コミュニティ財団	はとバス、東京観光財団東京国際ホテル、東京都歴史文化財団、東京都動物園協会、東京都競馬、東京都交響楽団、多摩テレビ
その他	インフラ	国土交通省関東地方整備局、東京都建設局、東京都下水道局、東京都都市整備局、東京都交通局、東京都水道局
	金融・税	東京都主税局都税事務所

(平成22年度実績より一部編集抜粋)

現場体験型インターンシップ体験談

今後必要になる能力を早めに体感できることが一番の魅力です。

野澤 万里江

システムデザイン学部 インダストリアルアートコース1年
インターンシップ先 株式会社内田洋行



実習先である内田洋行は、情報通信技術を活かした空間づくりを提案している商社です。また、商社でありながら、自社製品が多いという特徴もっており、今回私はそれをPRする広報室で実習を行いました。実習では新商品である電子黒板のプレスリリースの作成、社内報へのインターンシップ実施報告記事執筆、自ら記事を書いたの出版社訪問、セールスプロモーションを行う業務まで非常に密度の高い体験をしました。訪問した出版社では言いたいこと

をうまく伝えられず、人とコミュニケーションする能力の重要性や分かりやすい文章を書くことの難しさを実感しました。首都大学東京のインターンシップは学生のうちに身につけておくべきことを早めに体感できることが一番の魅力だと思います。3・4年次に気付いて何かしようと思っても就職活動はすぐそこに迫っています。1・2年次ならいくらでも修正がきくはずですよ。(2010年10月取材)

今まで知らなかった広い世界があることを実感しました。

原田 昂輝

都市教養学部 経営学系1年
インターンシップ先 財団法人 東京都中小企業振興公社

大学に入るまでアルバイトをしたこともなかったので、早い時期から実社会に触れる経験を積むことで、社会人になるための準備として学生生活でどんなことをすればよいか分かったと思えました。インターンシップ先は、東京都内の中小企業に支援策を提供する中小企業支援機関で、実習期間は1週間でしたが、担当者の方と同行して支援企業を訪問したり、中小企業支援のためのさまざまなイベントやセミナーの実施・運営をお手伝いしたり、貴重な経験をする

ことができました。特に、厳しい経営状態の中でも自分自身で人生を切り開いている中小企業の経営者の方々の話を聞いたことは心に残りました。また、スーツ姿の社会人が行き交うオフィス街には、今まで私が見ていた世界とは違う広い世界があることを実感させてくれました。今後は実習での経験を活かして、個性や包容力、コミュニケーション力に象徴される「人間力」を養っていきたく思います。(2010年10月取材)



将来の進路とは違う職場でも、きっと得られるものがあるはずです。

宮田 夏奈実

都市教養学部 法学系1年
インターンシップ先 墨田区 すみだふれあいセンター福祉作業所



私のインターンシップ先は障害者の方を対象とした福祉施設で、利用者の方を補助しながら主に消しゴムの箱詰めや、シール貼りなどの軽作業を行う業務を体験しました。法学系で学んでいる私の専門とは違う分野の実習先ですが、1年生のうちから仕事の現場を体験できて、自分の専門分野以外の職場でも得られるものは必ずあると思います。それまであまり障害者の方と接したことがなく、どのように接してよいか最初は戸惑いましたが、職員の方々のアドバイスもあり、すぐに仲良くなれて、一緒にパンを販売したり、アクセサリを製作したり、楽しく仕事をすることができました。この実習を通して利用者の方々の純粋で懸命な姿に感動し、障害や障害者について今までより広い視野を持って考えられるようになりました。インターンシップは職業や進路について考えられる絶好のチャンスです。アルバイトとは違うものが得られるはずですよ。(2010年10月取材)

方々のアドバイスもあり、すぐに仲良くなれて、一緒にパンを販売したり、アクセサリを製作したり、楽しく仕事をすることができました。この実習を通して利用者の方々の純粋で懸命な姿に感動し、障害や障害者について今までより広い視野を持って考えられるようになりました。インターンシップは職業や進路について考えられる絶好のチャンスです。アルバイトとは違うものが得られるはずですよ。(2010年10月取材)

街づくりの現場に触れてさまざまな新しい発見がありました。

富田 遼平

都市環境学部 都市基盤環境コース1年
インターンシップ先 東京都建設局 第三建設事務所

自分が学んでいる土木分野の学習が実社会でどのような役割を果たしているのかを知らず、将来の展望がより明確になるのではないかと思います。インターンシップにチャレンジしました。実習では、新宿、杉並、中野の三区にある道路や河川など都市構造物の建設・保守現場での作業をさせていただきました。もともと街づくりとは建物、道路、河川などの新しい構造物を作ることだと思っ

ていましたが、構造物を作るには土地買収の交渉、環境管理、苦情処理など手間や時間のかかる仕事が必要であり、そのために努力している人たちがたくさんいることを知りました。まだ1年生で土木の専門知識が少なく、せつかく説明していただいても理解できないことも多かったのが心残りなので、今後の学びで力をつけ、できれば3・4年次のインターンシップで同じ実習先に行って自分の成長を確かめられたらよいですね。(2010年10月取材)



都市教養科目群 **基礎ゼミナール**

都市社会の抱えるさまざまな課題を理解し、ゼミ形式で解決法を探る

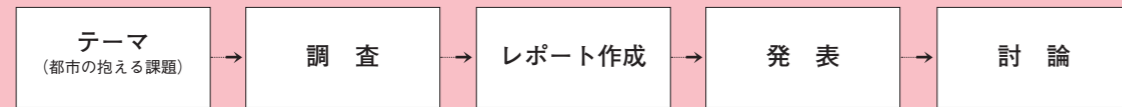
1年次に行われる基礎ゼミナールは、自己の表現力やプレゼンテーション能力を高めるために、担当教員の設定したテーマに基づいて行われる演習形式の授業です。少人数制(24名以内)の研究の中から学生同士の交流と豊かな人間関係の形成を促します。都市が抱える問題点を理解し、さまざまな課題について調査、研究、発表、討論を重ね、解決に必要な技法を体験的に修得します。



特 色

- ・少人数制 (24名以内) のゼミナール
- ・他学部学生との共同研究
- ・自己表現力を養う討論主体の授業

[基礎ゼミナールの流れ]



都市教養科目群 **実践英語科目**

話せる、聞ける英語の修得を目指す

英語の4つのスキルである「聞く」「話す」「読む」「書く」を反復して学習することで、実践的な英語を身につける教育を行います。特に全員が履修するNSE (Native Speaker of English) 担当のコミュニケーションを中心としたクラスでは、話せる、聞ける英語の修得を目指します。一定の英語の学力が認められれば、英語の履修義務が免除されます。また、入学後に一定の英語力を身につけた場合も、以降の英語の履修義務が免除されることがあります。



特 色

- ・各授業は25名規模で、レベル別にクラス編成
- ・NSE (外国人教員) による会話力の修得
- ・日本人教員による英語読解力の向上
- ・2年次の授業では1年次の授業を踏まえ、さらにスキルアップを目指す

反復学習で着実に英語力アップ



外国人教員による
会話力の修得

日本人教員による
英語読解力の向上

※英語以外にもドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語なども履修できます。

都市教養科目群 **情報科目**

パソコンを使いこなし、問題解決の武器にする

パソコンの取扱能力だけでなく、ものごとを正しく認識し、課題がどこにあるかを発見し、その解決にICT (情報通信技術) を活用する能力の育成を目指します。そのためにパソコンやアプリケーションソフトの基本操作に習熟するとともに、具体的な解決に活用する「課題解決型」の授業を行います。

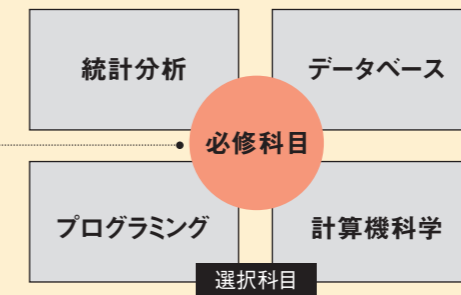


ICT (情報通信技術) を活用する力を養う

課題発見・解決の基礎を身につける

[情報リテラシー実践 I]

アプリケーションソフトの使い方だけでなく、ツールとしてICTを活用し、情報の収集→分析→判断→編集→伝達・発信→コミュニケーションといった情報活用能力の向上を目指します。



より高度な課題解決の手法を身につける

[情報リテラシー実践 II A]

統計分析やデータベース利用の手法を用い、より実践的で複雑な課題の解決に取り組みます。

[情報リテラシー実践 II B]

プログラミングや計算機科学の基礎知識を学び、数理科学的な課題の解決に取り組みます。

[情報リテラシー実践 II C]

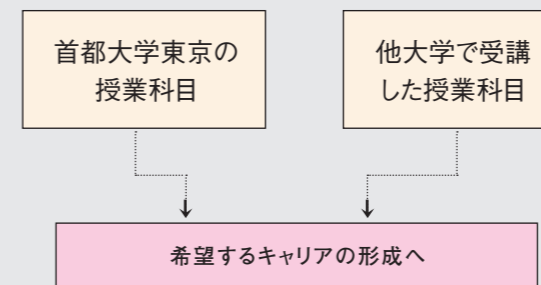
コンピュータ上での画像の扱い方と音の処理方法の基礎について学びます。

他大学等の授業科目の履修

首都大学東京では、本学の授業科目の体系的な学修を基本としつつ、同時に他大学等の授業科目も本学の単位修得とみなす制度を設けています。

さらに教育的な位置付けがある社会体験なども、単位認定の可能性が開かれています。

この制度によって、皆さんが、自らの問題や関心に合わせ、学内のみならず学外の教育資源を活用して、幅広い知識・能力を培うことを期待します。首都大学東京は、皆さんの可能性が広がっていくよう応援します。



単位互換協定大学

・東京慈恵会医科大学
医療総論 I、社会医学など医学部授業科目

・東京外国語大学
トルコ語、カンボジア語など外国語学部授業科目

専門教育科目群 副専攻

主専攻以外の専門分野も学ぶ

副専攻コースは、首都大学東京の目指す多様な履修を可能にする専門教育として位置付けられています。主専攻（各学部・系の基本コース）とは異なる特定分野の専門科目を履修することによ

り、複数の分野にわたる複合的な専門知識の修得及び学際的視野の獲得を目的とする履修コースです。

卒業時には、副専攻コース修了証書が授与されます。

観光経営副専攻コース（2011年度開設）

観光経営副専攻コースのコンセプト

観光経営副専攻コースは、観光とその経営に関する教育プログラムを提供し、都市・自然・社会と調和した持続発展可能な観光を支え、観光関連企業、観光行政、地域において第一線で企画立案やマネジメントに携わるリーダーとなり得る、国際的視野と先端的なマネジメント能力を兼ね備えた先導的人材の育成を目指しています。

対象とする学生

すべての学部学生を対象としています。とりわけ、将来、観光産業や観光行政の幹部、観光関連分野での地域リーダーとして活躍しようとする学生、マネジメント能力に磨きをかけさまざまな分野のリーダーとして活躍しようとする学生、また、本学大学院を含む観光分野の大学院に進学を希望する学生などには本副専攻コースの履修を強く推奨します。

人間健康科学副専攻コース

人間健康科学副専攻コースは、健康福祉学部が提供し、人間健康科学研究科ヘルスプロモーションサイエンス学域の教員が授業科目を担当しています。

長寿社会化が進む大都市における人間の行動・適応・

栄養・健康の諸問題に関する教育を学際的かつ実践的に行い、総合的視野と専門的洞察力や知識を備え、健康の増進に関する指導能力を兼ね備えた、活力ある人材を育成することを目的とします。

履修モデルプランの例（あくまで例であり、興味関心に合わせて自由に科目を選択することができます。）

学びたい内容	関連する専門教育科目
こころの不思議や文化について学びたい	知覚運動制御論、運動心理学、運動文化論、行動神経科学、認知行動学、発育発達学ほか
生理生化学の応用可能性を学びたい	環境生理生化学、行動神経科学、食品機能と健康科学、生体防御と健康科学、栄養科学、運動処方論ほか
食品と栄養のエキスパートになりたい	食品機能と健康科学、スポーツと栄養管理、栄養科学、公衆衛生学、ライフステージ健康科学、生体防御と健康科学ほか
スポーツについて集中的に勉強したい	スポーツ教育学、スポーツと栄養管理、スポーツ機能解剖学、運動処方論、認知行動学、運動文化論ほか



都市教養学部 理工学系
生命科学コース3年
塩入 直也

人間を対象とした分野を学ぶことで
主専攻に対する視野も広がりました。

幼い頃から水泳をやっていたこともあり、スポーツや栄養について興味を持っていたので、迷わず副専攻コースを選択しました。特に興味深かった科目は「スポーツと栄養管理」「健康とスポーツの科学」で、スポーツの場面に応じたエネルギーの摂取方法や毎日を健康的に過ごすためのトレーニング方法など、講義内容

を実際の生活に活かすことができるので、とても実用的な科目だと思います。また、主専攻の生命科学分野では人間を主な学習・研究の対象としていないため、副専攻で人間を扱う分野の科目を学んだことで、主専攻に対する考え方や視点が広がったことも大きなプラスになりました。
(2010年10月取材)

都市教養学部

Faculty of Urban Liberal Arts

都市教養学科

http://www.tmu.ac.jp/academics/faculty/urban_liberal.html

032 人文・社会系

034 社会学コース

036 心理学・教育学コース

038 国際文化コース

042 法学系

044 法律学コース

046 政治学コース

048 経営学系

050 経営学コース

052 経済学コース

054 理工学系

056 数理科学コース

058 物理学コース

060 化学コース

062 生命科学コース

064 電気電子工学コース

066 機械工学コース

068 都市政策コース*

*2年次進級時に選択